

2022年12月吉日

国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 特別展のご案内

当館では下記の通り、特別展「日本のうるし工芸」および関連オンライン公開講座を開催いたします。

日本の家庭において、漆の器は、普段使いのお碗から特別な日のご馳走を詰める重箱に至るまで広く使われています。観劇、お花見、紅葉狩り、お月見など四季折々の行楽、また祭礼や年中行事などのハレの日には特別な器で食事や酒を供し、その際に用いられたのが漆器です。本展は、当館の漆工コレクションの中から食器や酒器を中心に、身の回りのものを収納する箱類も含め、100点を選び展示するものです。

多様な漆塗りや蒔絵によって加飾された器類は美しいばかりではなく、そこには、重ね、入子、軽量化など、携行するための工夫も見ることができます。展示品には、江戸時代から明治、大正時代に制作されたものを中心に、最近ではほとんど目にしなくなった器物も多く紹介いたします。

安心して宴席を囲み食事ができるようになる日を心待ちに、日本の漆工芸の多様な形、文様の美しさに注目していただければ幸いです。つきましては、展示のご案内にお力添えいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

展覧会名： 「日本のうるし工芸」 Japanese Lacquerware

会期： 2023年1月10日（火）～3月2日（木）

会場： 湯浅八郎記念館2階特別展示室

主な展示資料： 提重・重箱・弁当箱：24点

椀や皿などの食器：24点

指樽、片口、銚子などの酒器：11点

手箱や菓子箱など：21点

浮世絵などの関連資料：20点

総数 100点

開館時間： 火曜～木曜 13:00～17:00 要事前予約（電話またはオンラインフォームから）

休館日： 金曜～月曜および祝日

入館料： 無料



オンライン公開講座：講師：永島 明子（ながしま・めいこ）氏

京都国立博物館 学芸部 教育室長（兼工芸室 漆工担当）

タイトル：「漆器のたのしみ」

日時：2023年1月28日（土）14:00～15:30

聴講無料・要事前予約（オンラインフォームから）



お問合せ： 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

担当学芸員：福野 明子

TEL: 0422-33-3340 / FAX: 0422-33-3485 / Email: fukuno@icu.ac.jp

なお、12月24日～1月5日は館内資料整理・大学の冬期一斉休暇となりますので、お問合せは12月23日まで、または1月6日以降にお願いいたします。